

県産オリジナルイチゴ品種のSWOT分析

福島県農業総合センター 企画経営部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

農業経済 - 農業経済 - 市場対応、市場流通
分類コード 14-01-56720000

2 担当者

半杭真一

3 要旨

イチゴオリジナル品種の出荷・流通・小売の各段階での評価を聞き取り調査し、SWOT分析を用いて、内部資源(強みと弱み)、外部環境(機会と脅威)を明らかにした。

- (1) 「ふくはる香」の内部資源については、強みとして「甘みが強く非常に良い、見た目(果型)がいい、大玉である、価格が高い」という評価、弱みとして「甘いだけでものたりない、飽きてしまう味、果皮が弱く日持ちしない、収量が低い、価格が高い」という評価が得られた。
- (2) 「ふくはる香」の外部環境については、機会として「他の品目との競合がない、子供に人気がある、ブランド・小分け・簡便が備わる」という評価、脅威として「『イチゴはイチゴ』品種までは認識されていない、棚持ち優先で食味が確保しにくい」という評価が得られた。
- (3) 「ふくあや香」の内部資源としては、強みとして「まづくはない、高温期の食味低下が少ない、見た目(果型)がいい、暖房機も電照も不要、収量もそこそこ、価格が高い」という評価、弱みとして「酸味が強く若者受けしない、特別うまい品種じゃない、とちおとめよりは傷む、価格が高い」という評価が得られた。
- (4) 「ふくあや香」の外部環境としては、機会として「競合するものはない、時期的にイチゴは売場の主役、オリジナル品種をもとめていた」という評価、脅威として「消費者は品種を意識していない、プライス要因で若者はオリジナル品種に手を出さない」という評価が得られた。

4 その他の資料等

なし